

## インフォシス、Google Cloud Industry Solution の メディア & エンターテインメント部門で 2020 年の年間パートナー賞を受賞

バンガロール (インド) - 2021 年 9 月 8 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、Google Cloud Industry Solution のメディア & エンターテインメント部門で 2020 年の年間パートナー賞を受賞したことを発表しました。

インフォシスは Google Cloud エコシステムにおいて、複数の地域でメディアおよびエンターテインメント業界の顧客を支援した実績を高く評価されました。インフォシスは Google Cloud が提供するプラットフォーム上で、カスタマイズされたクラウドネイティブなソリューションおよびサービスを共同開発することで、デジタル変革ジャーニーの高速化を達成しています。

インフォシスと Google Cloud は、AI 主導型のメディアサービスである [Infosys Media Platform](#) を活用してメディア・ワークフローとメタデータ・オーケストレーション・ソリューションを共同開発し、スタジオや放送の運用を変革しました。この共同開発は、従来型のメディア事業を大きく揺るがす可能性があるものです。Infosys Media Platform は、企業がクラウドへの移行を加速するためのサービス、ソリューション、プラットフォームのフルセットである [Infosys Cobalt](#) の提供サービスです。また、インフォシスと Google Cloud のパートナーシップの範囲には、スタジオおよび放送業界の顧客が保有するアセットや YouTube 上のアーカイブのグローバルなデジタル化とマネタイゼーション戦略の実行が含まれ、これには Google Cloud のメディアサービス上にオーケストレーションされた統合メディアサプライチェーン、AI/ML およびデータアナリティクスが活用されます。

**Google Cloud グローバル・パートナー・エコシステム担当コーポレート副社長の Kevin Ichhpurani 氏**は次のように述べています。「インフォシスが持つ深い知識とメディア・エンターテインメント業界の顧客を成功に導いた証明済みの実績に基づき、この分野における当社の年間業界パートナーとしてインフォシスを表彰できることを大変喜んでいます。インフォシスは昨年、メディアおよびエンターテインメント分野で強力な技術力とサービス能力を発揮しました。当社はインフォシスと共に、これらの産業のデジタル変革を推進していきたいと考えています。

**インフォシスの副社長兼グローバル業界リーダー、コミュニケーション、メディアおよびテクノロジー担当責任者の Anand Swaminathan** は次のように述べています。「今回の Google Cloud による表彰を誇りに思います。インフォシスは同社と共に、Google Cloud および YouTube による、世界を揺るがすような大きな働きを支えています。このことは将来、メディアの運用と配信サプライチェーンを変革するでしょう。Google Cloud の戦略的パートナーとして、当社は Infosys Cobalt と並び、Infosys Media Platform のようなソリューションやサービスを提供します。これらによりスケラブルでオンデマンドなクラウドモデルを創出し、企業のデジタル変革とクラウドファースト戦略の導入を促進してまいります。」

Infosys Media Platform の詳細は、こちらをご覧ください。[www.infosys.com/industries/media-entertainment.html](http://www.infosys.com/industries/media-entertainment.html)

Infosys Cobalt の詳細は、こちらをご覧ください。[www.infosys.com/cobalt](http://www.infosys.com/cobalt)

### インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

### セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する



法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

**お問い合わせ先**

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)